

農業委員会 だより

第37号

【発行日】 令和6年10月10日

【発行】 奥州市農業委員会

【編集】 奥州市農業委員会
広報編集委員会

【印刷】 あべ印刷株式会社



会長就任あいさつ

奥州市農業委員会

会長 伊藤 周治

日頃から、農業委員会の業務、活動に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る7月22日の奥州市農業委員会総会において推薦され会長に就任いたしました。誠に身に余る光栄ではございますが、それと同時にその責任の重さに身の引き締まる思いであります。また、任期満了による改選に伴い、新たに農業委員24名、農地利用最適化推進委員40名が選任されました。農業委員及び農地利用最適化推進委員が力を合わせて、農地利用の最適化に向けて尽力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、現在、各集落において、地域農業の将来像を明らかにすべく「地域計画」の策定に向けた話し合いが行われております。農業者の高齢化、担い手不足、人口減少による農地の荒廃化が懸念される昨今、この話し合いを通じ、「今耕されている農地を、耕せるうちに、耕せる人におつなぎすること」を実現できるよう、我々農業委員、農地利用最適化推進委員が果たすべき役割は大きいものと認識しております。

結びに、農業委員会の活動を円滑に進めていくにあたり、農業者の皆様をはじめとする市民の皆様や関係機関のお力添えが必要となります。より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

委員改選により 新体制となりました

令和6年7月22日、市長から新農業委員24名に辞令が交付され、同日に開催された農業委員会総会において、会長と会長職務代理者、各専門委員会の正副委員長及び委員が選任されました。また、翌23日には、前日に議決された40名の農地利用最適化推進委員に委嘱状を交付しました。

任期は令和9年7月19日までの3年間で、農地についてのご相談は、お近くの農業委員または農地利用最適化推進委員までお寄せください。



7月22日 辞令交付 (奥州市役所・本庁)

新農業委員・ 推進委員の紹介

※地域順

農業委員

氏 名

- ①担当地区
- ②専門委員会

農地利用最適化推進委員

氏 名
担当地区



ほし ようこ
星 洋子

- ①南都田
- ②農業振興

会長職務代理者



いとう しゅうじ
伊藤 周治

- ①田原
- ②農政

会 長



さとう しげる
佐藤 茂

水沢

農地利用最適化推進委員



ちば こうじ
千葉 孝治

- ①真城、姉体、黒石
- ②農業振興



ちば ひでひろ
千葉 英宏

- ①水沢東、佐倉河、羽田
- ②農政



たかはし よしのり
高橋 義典

- ①水沢西、水沢東
- ②農政

農業委員



なすかわ ゆうきち
那須川 祐吉

真城



さとう ながまさ
佐藤 永匡

真城



ちだ せいらう
千田 晴郎

佐倉河



あおき みのり
青木 稔

佐倉河



たかはし かおる
高橋 馨

水沢



やえ がし あきら
八重樫 章

- ①岩谷堂
- ②農政

農業委員



ふじむら やすゆき
藤原 保之

黒石



こん の としひろ
今野 俊宏

羽田



すがわら しゅうろう
菅原 庄郎

姉体



いまい ようこ
家子 洋子

- ①米里、玉里
- ②農業振興

*中立委員 (利害関係を有しない者)



あさの てるお
浅野 輝夫

- ①米里、玉里
- ②農業振興



おざわ やすし
小澤 靖

- ①藤里、伊手
- ②農業振興



いわぶち ひさこ
岩渕 壽子

- ①愛宕、稲瀬
- ②農政

農政専門委員会副委員長



ひし の ひろゆき
紺野 弘行

- ①愛宕
- ②農政

農業者の元気な老後をサポート 農業者年金



きくち しんや
菊地 信也
岩谷堂

農地利用最適化推進委員



たかはし ひろゆき
高橋 浩幸
①稲瀬
②農業振興



あべ しげあき
阿部 成明
①梁川、広瀬
②農業振興



7月23日 委嘱状交付 (奥州市役所・本庁)



さとう としあき
佐藤 利昭
田原



うめはら せいじん
梅原 成人
田原



たかはし おさむ
高橋 修
愛宕



きくち てるお
菊地 照夫
愛宕



すずき ただよし
鈴木 忠孝
岩谷堂



あさぬま しのぶ
浅沼 進
梁川



きくち しげる
菊池 茂
玉里



さとう たかこ
佐藤たき子
米里



きくち かつひろ
菊池 克寛
伊手

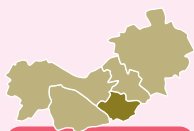


おいかわ まさひろ
及川 正弘
藤里



ちば ふさし
千葉 房志
①前沢
②農業振興

農業委員



前沢



たかはし つかさ
高橋 司
稲瀬



おいかわ はつみ
及川 初巳
稲瀬



ごとう けんいち
後藤 健一
広瀬



たかはし きちお
高橋 吉男
前沢



おおうち としじ
大内 俊二
前沢

農地利用最適化推進委員



ささき せいこ
佐々木生子
①生母
②農政



きくち たかふみ
菊地 隆文
①生母
②農業振興



すずき よういち
鈴木 洋一
①古城、白山
②農政



まつお まさお
松戸 正雄
①小山
②農業振興

農業委員



胆沢



いわふち おさむ
岩淵 修
生母

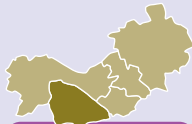


ささき としひろ
佐々木敏博
白山



おの けいかずや
小野寺和也
古城

農業振興専門委員会副委員長

 おの での ひでひろ 小野寺英大 小山 農地利用最適化推進委員	 うえまつ いくお 植松 郁男 ①若柳 ②農業振興	 おばら しゅうこう 小原 松光 ①若柳 ②農政	 ふくだ たかのり 福田 貴徳 ①南都田 ②農政	 すがわら としひろ 菅原 利宏 ①小山 ②農政
 ちだ つとむ 千田 功 南都田	 たかはし よしたか 高橋 善隆 南都田	 ちば まなぶ 千葉 学 小山	 さとう けんじ 佐藤 健二 小山	 さくらだ おさむ 櫻田 治 小山
 すずき きいち 鈴木 喜一 ①北股、衣川 ②農業振興 農業委員 農業振興専門委員会委員長	 衣川	 たかはし みつお 高橋 光雄 若柳	 あんばい しゅういち 安倍 秀一 若柳	 あべ ゆきよし 阿部 幸義 若柳
	 さとう かつゆき 佐藤 勝之 衣里	 ちば ゆうこう 千葉 祐光 衣川	 すがわら かずひろ 菅原 一弘 北股・南股 農地利用最適化推進委員	 みaura まさゆき 三浦 正幸 ①南股、衣里 ②農政 農政専門委員会委員長

農地利用最適化推進委員にご相談ください。



7月31日に行われた農地パトロール出発式

農地パトロール(利用状況調査)の実施について

農業委員会では、8～9月にかけて遊休農地の発生防止・解消、違反転用の防止や早期発見など、市内の農地の利用状況を確認し、利用の促進に繋げるために、農地パトロール(利用状況調査)を実施しました。

農地パトロールの結果により、遊休農地または遊休化の恐れがあると判断された農地の所有者には、農地の利用意向調査を実施します。

回答がない場合や、回答のとおり利用されず、遊休農地を放置している場合、農地中間管理機構と貸借について協議するよう勧告を行うことになります。勧告となった場合、翌年度以降の固定資産税の課税強化の対象になりますので、ご注意ください。

知って得する農業者年金



自営業だからこそ自分で備えを！

照り付けるような日差しの続いた8月、お話を伺ったのは江刺梁川で養鶏業を営む農家さんです。親子三代で農業者年金に加入しているとのこと！

加入の理由やご自身が感じる制度の魅力について教えていただきました。

Q.加入したきっかけは？

祖父と母も加入しており、年金に加入した方がよいとは考えていました。その後自分が経営の中心を担うことになったタイミングで農業者年金に加入しました。

Q.加入を迷っている 農業者へひとこと

自分の将来は自分で考えていく必要があると思います。特に自営業であれば、何かしら将来に備えて加入しておいた方がいいのではないのでしょうか。



江刺地区(梁川)
懸田 大輔 さん

Q.懸田さんが感じる 農業者年金の魅力は？

一番大きいのは納めた保険料の全額が社会保険料控除の対象になるなど、税制面の対策にもなる、というところです。

会社員から家業を継ぎ就農したとのことで、自営業である現在のほうがより自分で将来への備えを考える必要性を感じているそうです。

農業者年金は一生涯受け取ることができ、長生き時代にも安心の制度設計です。農業者の皆さんもご自身の将来の備えに「農業者年金」を考えてみてはいかがでしょうか？

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJA又は農業者年金基金にお問い合わせください。独立行政法人農業者年金基金 TEL 03-3502-3199 (専門相談員)

詳しくは…

農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>



農業者年金各種届出にかかる受付停止期間のお知らせ

農業者年金基金は令和6年11月に事務所移転を予定しています。これにより機械の移設作業を行うことから、令和6年10月28日～同年11月1日までシステムが停止するため、この期間は農業者年金基金、各農業協同組合及び当農業委員会にて加入状況の確認、各種届出書の作成ができません。農業者年金に関しお問い合わせをいただく場合は、この期間を避けてお問い合わせいただきますようお願いいたします。

表紙写真の紹介 江刺・田原

令和6年7月会長・会長職務代理者に就任した2人。
令和6年5月にリリースされた奥州市の公式マスコットキャラクター「おうしゅうたろう」と一緒にきゅうりの収穫をしてきました。



全国農業新聞 全国農業新聞を購読してみませんか

全国農業新聞は週刊の農業総合専門紙です。1週間の農政の動きとそれにかかわる情報をわかりやすく伝えます。農業経営に役立つ情報の収集に全国農業新聞を活用しませんか。

ご購入のお申込みは、お近くの農業委員、農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局までお願いします。

週刊 月4回 金曜日発行／月額700円、年8,400円(税込)

奥州市農業委員会事務局

- 本庁(水沢) 奥州市役所5階
☎ 34-1753 (直通)
☎ 24-2111 (内線1572・1573・1574)
- 江刺分室 江刺総合支所1階
☎ 34-1624 (直通)
☎ 35-2111 (内線2124)
- 前沢分室 前沢総合支所1階
☎ 34-0264 (直通)
☎ 56-2111 (内線3244)
- 胆沢分室 胆沢総合支所1階
☎ 34-0314 (直通)
☎ 46-2111 (内線4121・4122)
- 衣川分室 衣川総合支所内
☎ 34-2363 (直通)
☎ 52-3111 (内線5578・5580)

令和7年4月から農地の貸借の手続きが変わります

認定農業者や一定規模の農業経営を行っている農家を対象とした、市で定める農用地利用集積計画による農地の貸借の契約手続きは、令和7年4月(地域計画策定後)から農地中間管理機構(岩手県では岩手県農業公社)が行う農地中間管理事業(農用地利用集積等促進計画)を利用する契約手続きに切り替わります。

農地中間管理事業の手続きについては、農林部農政課(34-1582)または農業委員会事務局(34-1754)にお問い合わせください。

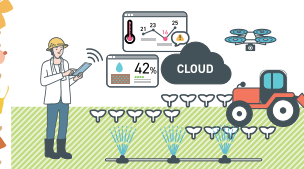
なお、農地法第3条による農地の貸借などは、今までどおり農業委員会事務局及び各分室で申請することができます。

農業委員の着眼点! 道端

食卓と未来を繋ぐ、農業の進化

かつては太陽と土壌、そして人間の力だけで営まれた農業は、今テクノロジーの力を借り、新たな進化を遂げようとしています。ドローンが農薬を散布し、センサーが土壌の状態を分析、AIが収穫時期を予測する。そんな未来的な光景はもはやSFではなく、現実のものとなりつつあります。しかし、テクノロジーの導入だけが、農業の未来ではありません。古くからの知恵である伝統的な農

法や、地域に根付いた文化、そして人々の繋がりがこそが、持続可能な農業の根幹をなすのです。有機農業や自然農法は、環境負荷を低減し、土壌の健康を継続することで、持続可能な農業を実現します。地域住民が一体となって取り組む「地産地消」は、地域経済の活性化に貢献し、食の安全を確保します。



- 【広報編集委員会】
- ◎委員長 星 洋子
 - ◎副委員長 三浦 正幸
 - ◎委員 鈴 菅 千家
 - ◎委員 木 原 葉子
 - ◎委員 洋 利 孝洋
 - ◎委員 一 宏 治子

農業委員の改選に伴い、本号から新しい編集体制での発行となりました。発行は年2回になっております。農政情報や各種制度等、皆様に役立つ情報を発信する広報誌として、内容を充実させてお届けしたいと思っております。皆様のご協力よろしく申し上げます。

編集後記